

高校・一般の部 優秀賞

梅田 美枝

戦後70年が過ぎ、体験者が少なくなった今、直接話を聞くことが難しい、何らかの方法で次代に伝えていくことが私たちの使命であると思います。

私は三歳で終戦、戦争を知らない世代です。物心ついた頃、家族をはじめ周りの人から戦争の怖さを聞いていました。

戦争は殺し合いです。爆撃を受け焼野原化した自分が住んでいた町、何体もの死んだ人の上をまたいで、よろけながら逃げた。防空壕の入口で倒れ死んでいる。体験した人でなければ分からない。

繰り返し聞くことです。そして怖さを知ることです。

夫が戦死した人は どんな気持だっただろうか

兄弟が戦死した人は どんな気持だっただろうか

知り合いが戦死した人は どんな気持だっただろうか

自分に置き代えてみて「戦争は絶対にしない」を言い続けましょう。

戦争は人間の心 物 総てをうばいます。

戦中戦後、物が少なく紙や鉛筆総ての物を大事に使いました。食べ物も家族みんなで分け合って食べたことを私ははっきり覚えています。

戦争の悲惨を伝える絵本、映像、録音など…

瑞穂町の体験者のお話など…

企画課、遺族会の方をはじめ皆さんの協力で伝えていく役目は、戦争を知らない世代にあります。

平和は尊い

皆が分かり合い 平和な世界が続くように

人は一人では生きられない

助け合い 思いやって生きる

絆は尊い

信じ合い 教わり 感じて 伝えて 絆を得る

平和は尊い